

仙台育英学園 同窓会々報

発行所 仙台育英学園同窓会
〒983-0045 仙台市宮城野区一宮
宮城野二丁目4-1
TEL.022-256-4141
編集 仙台育英学園
同人会事務局
印刷所 本印刷株式会社
TEL.022-288-5231

母校仙台育英学園の発展に寄与することを目的としております。日ごろ、同窓会活動に深いご理解と協力をいただき、心から

母校益々の隆盛



仙台育英学園同窓会
会長 瀬戸 信男

盛夏の候、同窓諸兄弟の皆様におかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。同窓会は、同じ学園生活を送った卒業生が、世代を超えて縦横に結びつき、会員相互の親睦と、

感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは未だに収束が見えておりません。少なくとも短期的には撲滅が困難であることを前提とした上で、国はあるべき社会を求めするためにアフターコロナを提言するようになりしました。アフターコロナ社会像は、感染症の存在を前提とした生活を今後も継続していくということであり、「新しい生活様式」と題した行動指針は、一人一人の基本的感染症対策では「ソーシャル・ディスタンスの確保」、「マスクの着用」、「手洗い」等。日常生活を営む上での基本的な生活様式では「三蜜の回避」、「こまめな換気」等。働

デイゴの花と源氏ボタル



秀光 中学校
仙台育英学園高等学校
理事長 加藤 雄彦
校長

真夏の太陽が燦爛と輝き、「デイゴの花」が見事に咲き誇る沖繩県沖繩市胡屋に本学園にとつては四番目となる沖繩キャンパスがあります。本年三月二十四日に開催された新校舎「栄光」の開校式には沖繩県内で学園の教育事業をご支援下さる皆様、そして沖繩県とご縁の深い駐日パラオ共和国ピーター・アデルバイ大使をお迎えして、琉球伝統舞踊「かぎやで風」や獅子太鼓部の祝賀披露があり、四階建ての本格的な私学振興の拠点が誕生しました。

振り返りますと、二〇一一年三月十一日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台育英学園宮城野校舎を再建するため、昼夜を問わず二年間の復興事業に取り組んできた結果、二〇一三

年三月二十四日本学園創立者加藤利吉先生のご命日に新校舎を竣工することができました。

大事業を成し遂げた安堵の気持ちと心のゆとりを取り戻した一方で、本学園卒業生やご家族があの黒い海に襲われて尊い命を失った喪失感を実感いたしました。そして、沖繩のどこまでも青く美しい海を見たい衝動にかられ、いつの間にか照間ビーチに行んでいたことが思い出されます。

その後何度も訪沖し、美しい海や沖繩県の人々の心の温かさと励ましにより、この地に新しい学校を設置したいという強い気持ちが湧いてきました。その思いが叶い、学園創立者加藤利吉先生が没してから六十年目を迎える日に、そして沖繩県が本土復帰してから五月十五日で五十年となる歴史的意義のある年に、新校舎「栄光」が完成し、広域通信制課程「H」の沖繩の二二〇名の生徒たちの学び舎となりました。

これから沖繩県の本学園職員とともにこの学校を育て、中頭地区における「C」教育のメッカとなるよう精進して参ります。加えて、学園にとつては五番目となるキャンパスが登米市東和町鱒淵に誕生しました。七月二十

き方の新しいスタイルでは「テレワーク」「リモートワーク」「オンライン会議」学校現場では「オンライン学習」等の積極的な導入が挙げられます。これまでの感染症対策やワクチン接種も進んできた現在、屋外でのマスク不要や観光支援事業「Go To Travel」の代替として、県民割への財政支援を始めました。国の補助に沿って一人一泊

当たり旅行代から五千円を割引し、加えて地域クーポン最大二千円を配るケースが多くなっています。また、県境をまたぐ広域ブロック内の移動も可能になったことは、大変喜ばしいことと思っております。

母校においては、来年度、沖繩に（仮称）仙台育英学園沖繩高等学校を開校する予定であります。昨年度に、沖繩県知事に学校設置認可計画書提出、現在沖繩県私立学校審議会にて審議中。今後、沖繩県へ学校設置認可申請を行い、令和五年四月一日の開校を予定しております。（詳細はP6に掲載）。また、本学園は、国際理解教育の一環、

二日、登米市熊谷盛廣市長はじめ市議会関係者および地域の代表者をお招きし、仙台育英学園高等学校東和蜜雪校舎の開校式を挙行了しました。

本学園の創立者加藤利吉先生が今から一七年前の明治三十八年（一九〇五）十月一日に仙台市錦町において私塾「英育会」を創設して以来、昭和二十年（一九四五）七月の太平洋戦争での戦災、昭和四十年（一九六五）三月の宮城野校舎焼失に及んだ火災、平成二十三年（二〇一一）の東日本大震災という未曾有の天災など、幾多の困難のたびごとに創立者の建学精神に関する文献や学校の資料等が散逸し、悔しい思いでございました。そして、在校生や卒業生に本学園の歩みを一齊に紹介できる場所を長年探し求めて参りました。

このたび、源氏ボタルが生息する自然豊かな鱒淵地区で、新入生、在校生、教職員はもちろんのこと同窓生、地域の皆さまに仙台育英学園の軌跡を一緒に辿っていただける企画展示しています。

鱒淵地区を代表する偉人の一人及川甚三郎翁と、学園創立者加藤利吉先生はいくつもの共通点があります。貧困家庭で幼少期を過ごしたこと、長男ではなく跡継ぎではなかったこと、新しいものに強い関心を持ち抜群の行動力に満ちた自治進取

また世界との交流振興の観点から多くの留学生を受け入れていますが、今後新たに受け入れる留学生への日本語指導や学校設定科目の集中実施による専門教育実施の場として、登米市東和町にある旧鱒淵小学校に、仙台育英学園高等学校東和蜜雪校舎として今年度開設されます。詳細はP6に掲載してありますのでご覧になってください。

令和四年度の入学式は、四月七日に秀光中学校で挙行され五十名の新入生を迎えました。また、仙台育英学園高等学校では一、〇四八名の新入生が入学しております。

母校の現況、後輩の進路状況等については、学園のホームページをご覧になって頂きたいと存じます。

最後になりますが、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ、諸先生方並びに会員皆様のご健勝とご多幸、母校の益々のご発展を祈念して挨拶いたします。

の人であったこと、英語や外国の事情を分からなくとも良いものは吸収しようと努力を重ねた質実剛健の人であったこと、後輩や部下を大切にしてみんなが豊かな生活が送れるように心がけた至誠の人であったことです。東和蜜雪校舎の設置の意味はこの両者の親和性にあります。

太平洋戦争に敗れ、昭和二十七年（一九五二）サンフランシスコ講和条約を締結してから、日本は独立国として七十年間歩んできました。その間、ノーベル文学賞作家である川端康成先生が「あれから七十年経ったら、日本の美しさは無くなってしまおう」と憂いた言葉を忘れることはできません。古都をはじめ日本のあちこちで日本らしさが失われてしまったこの時代であるからこそ、鱒淵地区で日本の私立学校の伝統を継承し、地域の皆さまと共にこのかけがえのない美しき風土を活かして参りたいと考えております。

奇しくも、本年二つのキャンパスが誕生しましたが、宮城野校舎、多賀城校舎そして八戸市にある湊高台校舎の生徒や教職員にとって、本学園が目指す私学教育を展開できる有意義な教育施設が加わったことは誠に有難いことです。

おめでとう!!

男子第72回・女子第33回 全国高等学校駅伝競走大会

【女子】歴代最多5回目の優勝 【男子】3年連続表彰台の3位



【女子】優勝 1時間07分16秒

(歴代最多5度目の優勝、5年連続表彰台)

- 1区 米澤奈々香 (3年) 区間賞
- 2区 杉森 心音 (2年) 区間賞
- 3区 山中 菜摘 (3年) 区間賞
- 4区 渡邊 来愛 (1年) 区間2位
- 5区 須郷 柚菜 (1年) 区間5位 (日本人2位)



【男子】3位 2時間02分59秒

(3年連続表彰台)

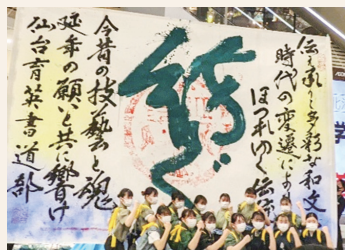
- 1区 吉居 駿恭 (3年) 区間 3位
- 2区 渡邊駿太郎 (3年) 区間18位
- 3区 堀 颯介 (3年) 区間15位
- 4区 ボニフェイス・ムチ (2年) 区間 2位
- 5区 馬場 大翔 (2年) 区間 2位
- 6区 大西柊太郎 (2年) 区間 8位
- 7区 佐藤 蓮 (2年) 区間 2位



その他、多くの運動部も活躍。全国高等学校総合体育大会(四国総体)においても多数の部活動が出場。また、3年ぶりに硬式野球部が甲子園進出を決めました。在校生のみなさんの活躍を心から願っております。

書道部の活動

2022年に入り、書道部が大活躍。全国の大会・展覧会で活躍しています。(詳細は以下のとおり。)今年度の全国高等学校総合文化祭(東京大会)でも書道部門に宮城県代表として二人が出展。また、ソニーミュージック所属グループ「wacci」のミュージックビデオの書道パフォーマンスも担当。その他、YouTubeでも数々の活躍ぶりがご覧いただけます。今後の活躍もとても楽しみです。



1月 第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ大会
決勝大会優勝(初代王者)
千葉・幕張新都心のイオンで開催



2月 第30回国際高校生選抜書展「書の甲子園」
全国優勝(3年ぶり2度目)
大阪・大阪市立美術館で開催



7月 第15回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会「書道パフォーマンス甲子園」
初出場・審査員特別賞
愛媛・伊予三島運動公園体育館で開催

支部総会のお知らせ

同窓会総会・役員会・懇親会中止のお知らせ

今年度は当初計画を進めておりましたが、新型コロナウイルス第七波の猛威により、大変残念と存じますが今年度標記のとおり中止とさせていただきます。皆様のご健康を祈念しております。

岩沼支部総会・懇親会中止のお知らせ

今年度も新型コロナウイルス感染症の現状から、開催を見合わせることにいたしました。皆様のご健康であることを祈念致し、次回開催できることを願っております。

東京支部のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の状況次第により、十一月二十七日(日)に開催できればと考えております。詳しくはFacebook「仙台育英学園同窓会東京支部」にて検索頂き、ご確認ください。

事務局より

今年度も新型コロナウイルス感染症の現状から、開催を見合わせることにいたしました。皆様のご健康であることを祈念致し、次回開催できることを願っております。

仙台育英学園高等学校「東和蛭雪校舎」

1 設置の理由及び目的

本学園は、明治38年10月、創立者加藤利吉翁による私塾「育英塾」を開校以来、幾多の変遷を経て大正11年4月、仙台育英中学校として開校した。昭和23年の学制改革により、同年4月に新制仙台育英学園高等学校としを設置し、今日に至っている。

創立者加藤利吉翁は、その著書で「建学精神」の重要性を説くとともに、「至誠」「質実剛健」「自治進取」を建学精神とした。この建学精神は現在も学園における教育活動の根幹を成すものとして受け継がれており、「総合的な探求の時間」を「建学の精神」と銘打ち、生徒が創立者の強い意志を学ぶ機会としている。

設置を計画している東和蛭雪校舎は、前述の教育活動の教材としての映像資料や書籍を集約し、特に入学間もない生徒への学びを提供する場となるものであり、同時に建学精神に裏打ちされた学園の歴史や活躍の成果等を集約し、未来への新たな自覚の成長を促す研修の場となるものである。

また、本学園がIBの学習プログラムであるMYP及びDPの認定校としての教育活動を実践しているが、IBサマーキャンプ等の研修の場とする。

さらに、本学園では、国際理解教育の一環、また世界との交流振興の観点から多くの留学生を受け入れているが、将来、介護士資格取得を目指し、FKコース3年生に留学してくるインドネシアの生徒への日本語指導や学校設定科目の集中実施による専門教育実施の場としての活用を計画している。

自然豊かな環境に恵まれた校舎で、上記の教育活動を展開し、国内外の若者を未来を担う人材として育成するための拠点としたい。

2 位置

登米市東和町米川字寺内31番地1 旧登米市立鱒淵小学校
※平成6年度に東和町立鱒淵小学校の新校舎として建設された木造校舎
※平成20年度に廃校

3 経過

令和3年7月29日 仙台育英学園高等学校東和蛭雪校舎連携協定締結(写真参照)
校舎無償譲与・校地30年間無償貸与
令和4年7月22日 開校式



(仮称)仙台育英学園沖縄高等学校 について

1 学校の名称 (仮称)仙台育英学園沖縄高等学校

2 設置の目的

本校は、学校法人仙台育英学園の建学の精神である「至誠」「質実剛健」「自治進取」を伝統とし、教育基本法及び学校教育法に則り、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて高等学校として行われる普通教育を施すとともに、沖縄県の地域課題解決に高度なICTスキルを用いて取り組むために、仙台育英学園高等学校広域通信制課程との連携も行いながら教育を行う。

3 学校の位置

沖縄県沖縄市胡屋2丁目6番17号

4 経過

令和4年3月9日 沖縄県知事に学校設置認可計画書提出
現在、沖縄県私立学校審議会にて審議中
今後、沖縄県へ学校設置認可申請を行い、令和5年4月1日の開校を予定

5 収容定員

1学年1学級40名



2025年度 会報協力金協力者

Table listing names of donors and their contribution amounts for the 2025 fiscal year. The table is organized in columns and rows, listing names like 村上敬次, 鈴木信雄, etc., and their respective contribution values.